点検・整備チェックリスト

（販売店にチェック・記入を依頼してください）

✓：異状なし　A：調整、注油　△：修理　×：交換　C：掃除その他　ー：装着されていない部品

点検の箇所	点検項目	販売時	1回目 2か月	2回目 6か月	3回目 1年	4回目 1年半	5回目 2年	6回目 2年半	7回目 3年
フレーム・フロントフォーク	変形、折損、ヒビ割れは無いか	■							
	ヘッド、ハンガー小物にガタや摩耗は無いか	■							
ハンドル	固定は確実か、高さ、ハンドルステムの挿入量は適正か								
	変形、折損、軽く回転するか	■							
どろよけ	変形、取り付けは適正か	■							
キャリヤ	変形、ガタ、折損は無いか	■							
車輪	固定は確実か、フレーム、フロントフォークに接触していないか								
タイヤ	切傷、摩耗は無いか、空気圧は適正か								
リム	変形、振れは無いか	■							
スポーク	緩み、折れ曲がり、切損は無いか	■							
ハブ	ハブナットの緩み、玉押しのガタは無いか	■							
ギヤクランク	ギヤ板の振れ、ヒビ入り（軽合金）、曲がり、ガタは無いか、締め付けは十分か	■							
ペダル	固定は確実か、取り付け部（クランク側）にバリは無いか								
	軸の回転は正常か、変形、カシメ、ねじの緩み、ガタ、折損は無いか	■							
ブレーキ	利き具合は適正か								
	レバーの引き代に余裕はあるか、ワイヤ類にさびやほつれは無いか	■							
	ブレーキゴム類（ブレーキブロック、パッド、ライニング）の減りは無いか	■							
変速機	作動は確実か								
ベルト	ヒビ入り、歯欠け、折損は無いか、張りは適正か	■							
チェーン	油切れ、たるみは無いか、ギヤとの噛み合わせは適正か	■							
サドル	固定は確実か、高さ、シートポストの挿入量は適正か								
	取り付け位置、ガタ、損傷は無いか	■							
ライト	点灯、照射は正常か、破損は無いか、コード切れは無いか								
リフレクター	汚れ、ガタ、破損は無いか、点灯（テールランプ付）は正常か	■							
スタンド	作動は正常か、ガタ、変形、折損は無いか	■							
ベル・ブザー	作動は正常か、変形、緩みは無いか、よく鳴るか								
錠	作動は正常か、変形、緩みは無いか								
その他	各部のねじの緩み、損傷は無いか	■							
注油箇所	チェーン、ワイヤ、変速機、ブレーキレバー、スタンドの支点、バッテリーロックキー穴、錠前キー穴	■							
実施店　実施者氏名＿＿＿＿＿＿	実施日		年／	年／	年／	年／	年／	年／	年／	年／
保証書に印字されている品番および車体番号を転記してください　品番　車体番号	確認印		㊞	㊞	㊞	㊞	㊞	㊞	㊞	㊞

パナソニック サイクルテック株式会社
〒582-8501　大阪府柏原市片山町 13 番 13 号

© Panasonic Cycle Technology Co., Ltd. 2011-2014

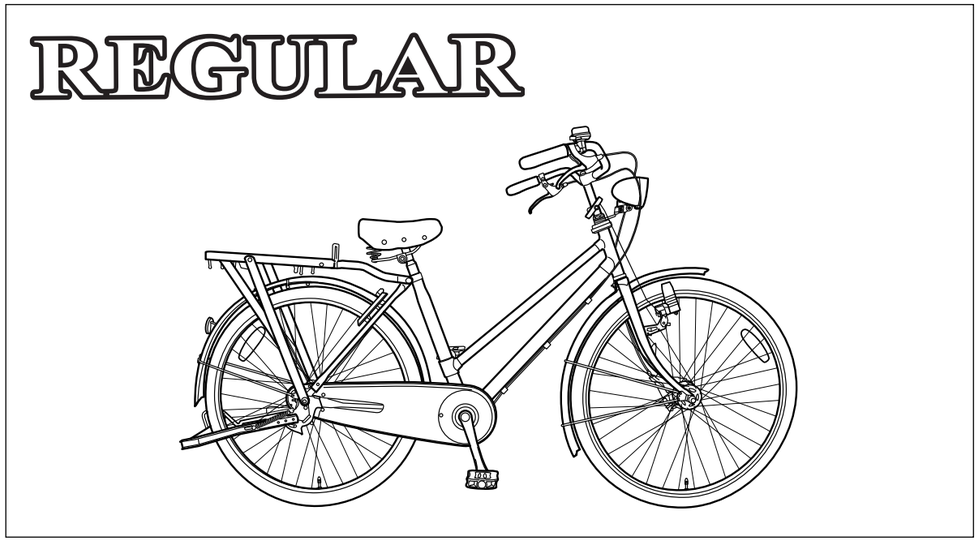
NYT1275 P0411-2044

Panasonic

取扱説明書
一般用自転車

レギュラー

品番 B-RG61A



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ●ご使用まえに「**安全上のご注意**」（2～7ページ）を必ずお読みください。
- ●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- ●製品を他の人に譲渡される場合は、この取扱説明書を一緒にお渡しください。
- ●お子様がお使いになる場合は、保護者の方がこの取扱説明書を必ずお読みいただき、正しい乗りかたをご指導ください。

お願い

- ●安全のため、ヘルメットの着用をお勧めします。
- ●万が一の事故に備え、対人・対物賠償保険に加入されることをお勧めします。
- ●必ず、販売店で防犯登録の申請手続きを行ってください。（法令で義務付けられています。）

お知らせ

- ●この自転車は、チャイルドシートを取付けることはできません。
- ●本品は業務用で使用した場合、保証期間内においても有償修理になる場合があります。
- ●この取扱説明書に記載のイラストは、イメージ図を使用しています。形状やデザインが、お買い上げいただいた自転車と異なる場合があります。

保証書別添付

もくじ

乗るまえに

- ●安全上のご注意 …… 2
- ●各部のなまえ …… 8
- ●乗るまえの点検と調整 …… 10
- ●正しい取扱い方法 …… 15

必要なとき

- ●保管／廃棄／運搬 …… 21
- ●お手入れ／注油について …… 22
- ●定期点検／アフターサービス …… 24
- ●盗難補償 …… 25
- ●自転車安全基準／BAA マーク … 26
- ●オプション（別売部品）…… 27
- ●仕様 …… 28

安全上のご注意(1)

必ずお守りください

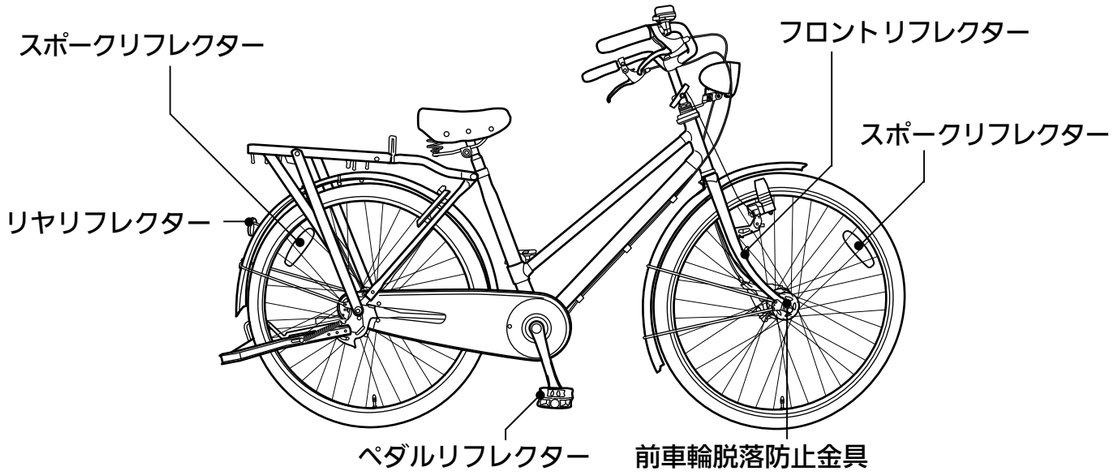
人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。



⚠ 警告

■安全装置は取り外さない

禁止

外したまま使用すると、事故発生によるけがのおそれがあります。

■改造や分解、また指定以外の注油はしない

禁止

部品の破損や、ブレーキが利かなくなって転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

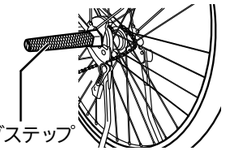
■サドルやハンドルは「はめ合わせ限界標識」が見える状態で乗らない

禁止

サドルやハンドルの折れにより、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

■ハブステップなどの突出物を装着しない

禁止



歩行者などに、危害をおよぼすおそれがあります。

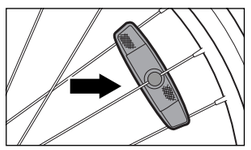
■調整後の締め付けを確認せずに乗らない(車輪の脱着やサドルなど)

禁止

車輪などが外れて、転倒によるけがのおそれがあります。

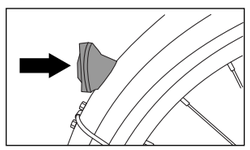
■安全装置

スポークリフレクター



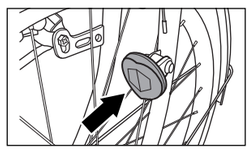
横からの光を反射します

リヤリフレクター
(後部反射器)



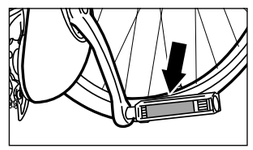
後からの光を反射します

フロントリフレクター
(前部反射器)



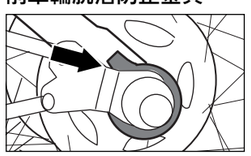
前からの光を反射します

ペダルリフレクター



前後からの光を反射します

前車輪脱落防止金具



前車輪の脱落を防止します

※リフレクターが破損した場合は、直ちに新品と交換してください。
(リヤリフレクターが破損したままでの夜間乗車は法令違反になります。)

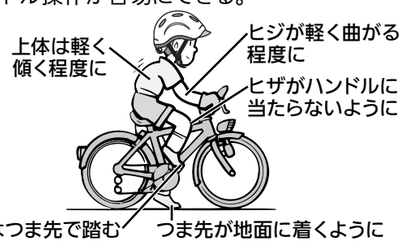
安全上のご注意(2)

必ずお守りください

■乗るまえに

まず体に合わせてください

●図のように販売店で調整してもらってください。
●操作して確認してください。
①円滑なペダリングができる。
②ブレーキや変速機が確実に操作できる。
③ハンドル操作が容易にできる。



必ず点検をしてください

●必ず、取扱説明書をよく読んで点検してください。
●わからないときは販売店に相談してください。
●未組立及び未調整の自転車は使用しないでください。

安全な服装で乗ってください

(車輪に巻き込まれやすい服装はしない)
●ズボンの汚れやチェーンへの巻き込み、ギヤへの引っかかりなどを防止するために、チェーンやギヤがむき出しの自転車に乗るときは、ズボンの裾をズボンバンドで止めてください。
●児童(13 歳未満の者)・幼児の保護者は、お子様が乗車するとき、かならずヘルメットをかぶらせてください。

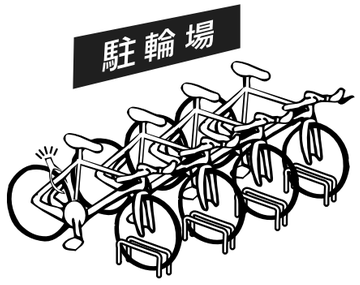
乗る練習は必ず行ってください

●練習を空地や公園など安全な場所で、行ってください。
●よく練習してから一般道路でお乗りください。

■乗ったあとは

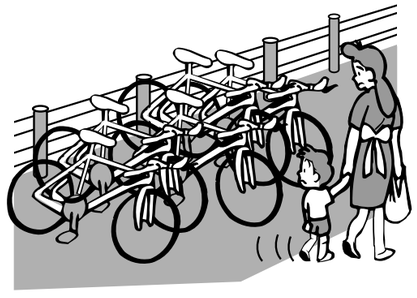
決められた場所に駐輪してください

●駐輪するときは、他の人に迷惑にならないよう、決められた場所にとめましょう。
●盗難防止のため、必ず鍵をかけましょう。



自転車放置禁止

●自転車の放置は、他の人に迷惑をかけるばかりでなく、環境悪化の原因となります。絶対に止めましょう。



■自転車の交通安全ルールを守りましょう

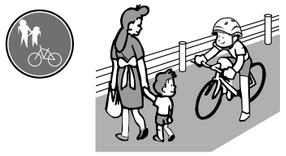
※違反すると、道路交通法の罰則を受けることがあります。

自転車は、車道通行が原則です

●歩道と車道の区別のある所は自転車は車道の左端に寄って通行しましょう。(路側帯がある場合でも、自転車の通行は道路の左側部分に設けられた路側帯に限定されます。)

次の様な場合は、歩道通行ができます

(そのときにも歩道は歩行者優先、車道よりを徐行)
●自転車歩道通行可の標識などで指定されている場合。
●運転者が児童、幼児、70歳以上の場合。
●車道や交通の状況からみてやむを得ない場合。

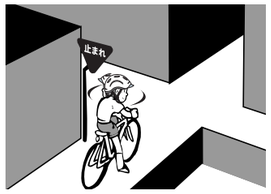


30 kg を超える荷物を積載しない

●ただし、自転車や取扱説明書などへ積載条件の記載がある場合はそちらを守ってください。

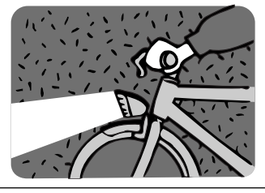
交差点では一時停止と安全確認を

●一時停止の標識を守り、広い道に出るときは、徐行と安全確認を。
●信号機がある場合は、信号を必ず守りましょう。



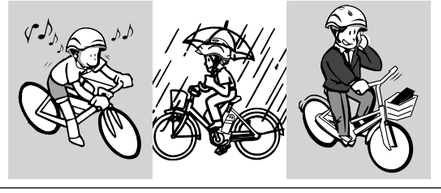
夜間やトンネル内、視界の悪いときは、ライトを点灯して通行しましょう

●夜の無灯火運転は交通違反です。
●暗いところではライトを点けて通行しましょう。



次の様な運転はしない

●ヘッドフォンを使用しながらの運転。
●傘さし運転。
●携帯電話を操作しながらの運転。



二人乗り、並進、飲酒運転は禁止

●6歳未満の子供をチャイルドシートに一人乗せる場合などを除き、二人乗りは禁止です。(幼児二人同乗用自転車を除く)
●「並進可」標識のある場所以外は並進は禁止です。
●飲酒運転は禁止です。

安全上のご注意(3)

必ずお守りください

けがをせずに、他の人にも迷惑をかけないために、乗りかたや交通ルールを守りましょう。
安全のため、ヘルメットの着用をお勧めします。

交通事故を防ぐために

自動車や子供に注意！
安全を確認し、乗りましょう

車の横を走るときに！

開くドアや人の飛び出しに注意する

学校や公園が近くにあるときに！

子供の飛び出しに注意する

交差点を通るときに！

左折車に巻き込まれないように注意する

転倒事故を防ぐために

こんなとき

■雨・風・雪のひどいときは乗らない

禁止

バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。

■合図以外は、ハンドルから手を離さない

禁止

バランスがとりにくく、転倒によるけがのおそれがあります。

こんな場所

■滑りやすい所では乗らない(積雪や凍結した道、鉄板やぬかるみなど)

禁止 スリップして、転倒によるけがのおそれがあります。

●降りて、押して歩いてください。

■凹凸の激しい所を走らない(歩道の段差や、溝など)

禁止 フレームや車輪の損傷や転倒によるけがのおそれがあります。

●降りて、押して歩いてください。

こんな乗りかた

■巻き込みやすいものを車輪やギヤに近接させて乗らない(長いスカートやマフラー、傘やペットのひもなど)

禁止

車輪やギヤに巻き込まれ、転倒によるけがのおそれがあります。

■傘やステッキ、釣りざおなどを車体に差し込んだり、釣り下げたりして乗らない

禁止

車輪に巻き込み、他の人や物にぶつけて事故や転倒によるけがのおそれがあります。

■土踏まずやかかとでペダルを踏まない

禁止

カーブでつま先が前車輪に当たり転倒によるけがのおそれがあります。

■滑りやすい靴や、かかとの高い靴、厚底靴などをはいて乗らない

禁止

ペダルから足が外れ、転倒によるけがのおそれがあります。

■手やハンドルに荷物をかけたり、ペットをつないだりしない

禁止

荷物やひもが、車輪に巻き込まれ、バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。

■カーブで曲がる側のペダルを下げない

禁止

ペダルが地面と接触し、転倒によるけがのおそれがあります。

こんな使いかた

■走行以外に使わない(踏み台代わりなど)

禁止

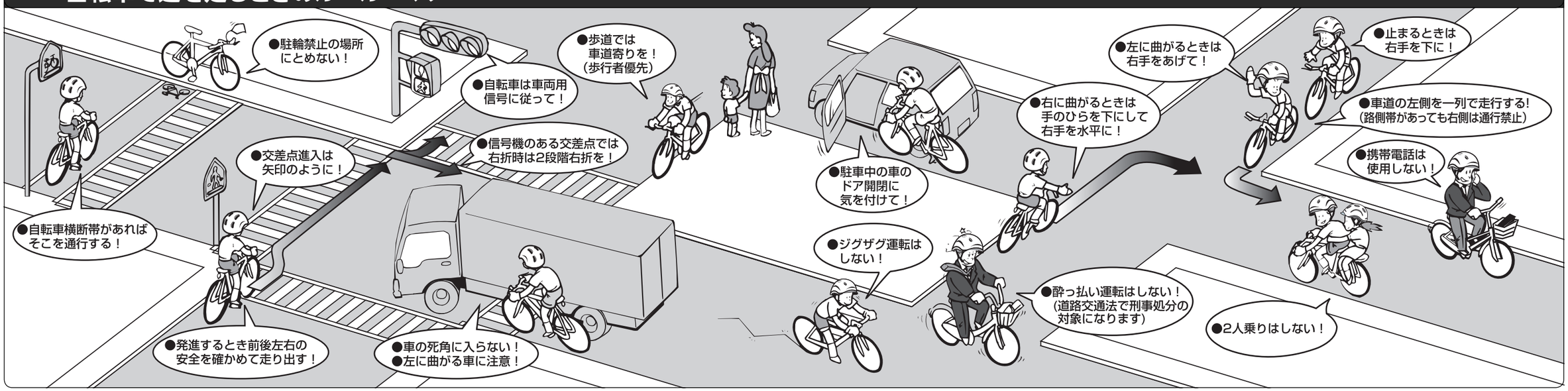
転倒によるけがのおそれがあります。

■スポークの間に固形物(ボールなど)を入れて走らない

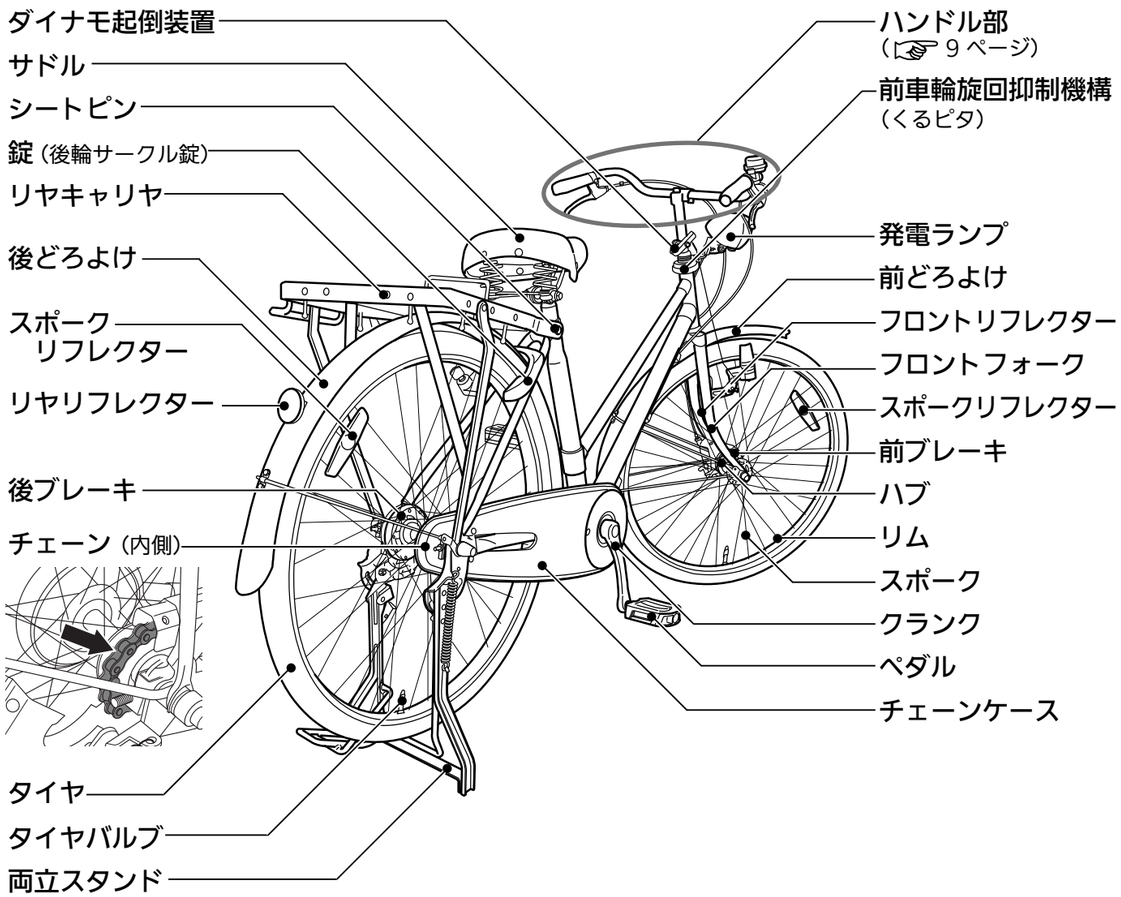
禁止

車輪に巻き込まれて転倒によるけがのおそれがあります。

自転車で道を走るときのルール・マナー



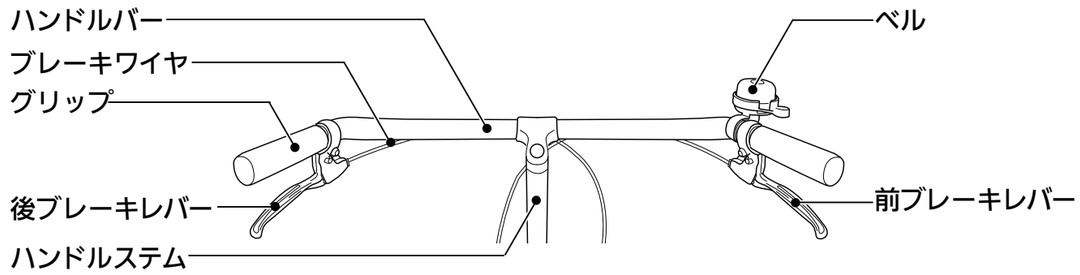
各部のなまえ

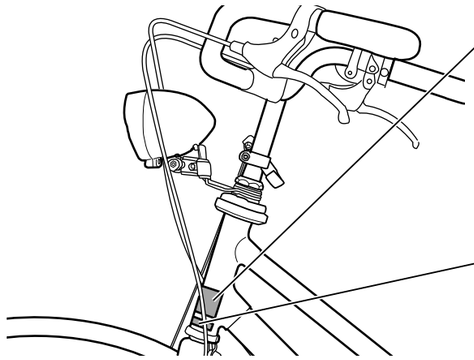


■付属品

- ●取扱説明書
- ●保証書
- ●ご愛用者登録はがき（プライバシー保護シール付）
- ●キー（スペアキー　2 本）

■ハンドル部





■車種品番表示

●車種品番の見方

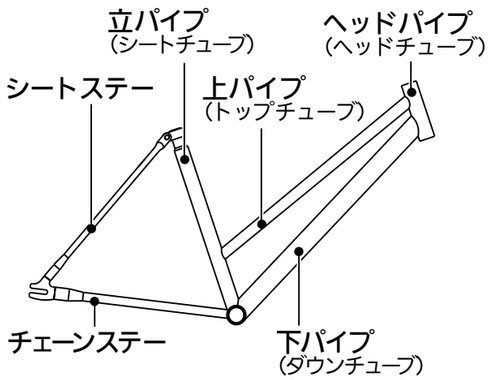
B-RG61A B

車種品番　色

■車体番号

7 文字（数字と英字）で表示しています。
防犯登録に必要です。

■フレーム体の各部のなまえ



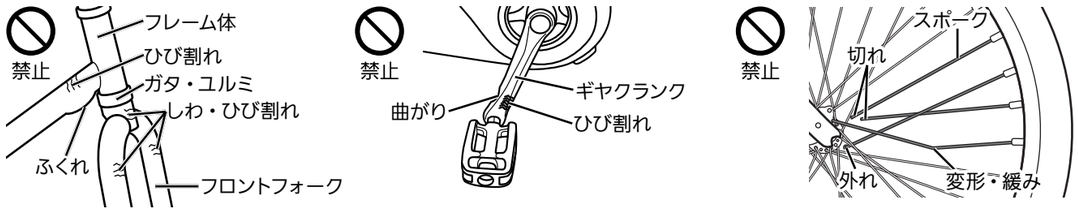
乗るまえの点検と調整(1)

日常、必ず実施する習慣をつけましょう。

安全にご乗車いただくため、乗るまえにつぎの点検、調整と走行テストを実施する習慣をつけましょう。

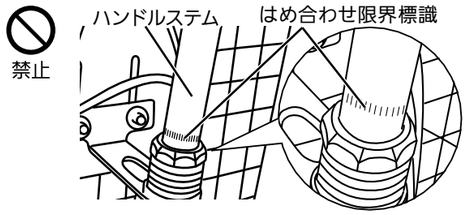
⚠ 警告

■各部にガタやユルミおよび、変形・ひび割れなどがあるときは乗らない



折れて転倒による、けがのおそれがあります。
●ひび割れや変形を見つけたら、すぐに乗るのを止めて、販売店で点検、交換をしてください。
●フロントフォークは衝突などの強い力を受けたとき、変形することによって乗員や車体への衝撃を和らげるように設計してあります。衝突や転倒など強い衝撃が加わったあとは、フロントフォークに変形やひび割れなどの異常がないか点検してください。
●スポークが１本でも切れたまま使用を続けると、他のスポークに負担がかかり寿命が短くなります。切れ・変形・緩みのあるスポークは直ちに交換してください。できれば、すべてのスポークを交換されることをお勧めします。
●ハンドルを締め付けてもガタ・ユルミがあるときは、すぐに乗るのを止めて、販売店で点検をしてください。

■ハンドルステムのはめ合わせ限界標識が、見えるまで上げない



ハンドルステムが折れて転倒による、けがのおそれがあります。
●ハンドルの高さ調整は、販売店にご相談ください。

■シートポストのはめ合わせ限界標識が、見えるまで上げない

シートポストが折れて転倒による、けがのおそれがあります。

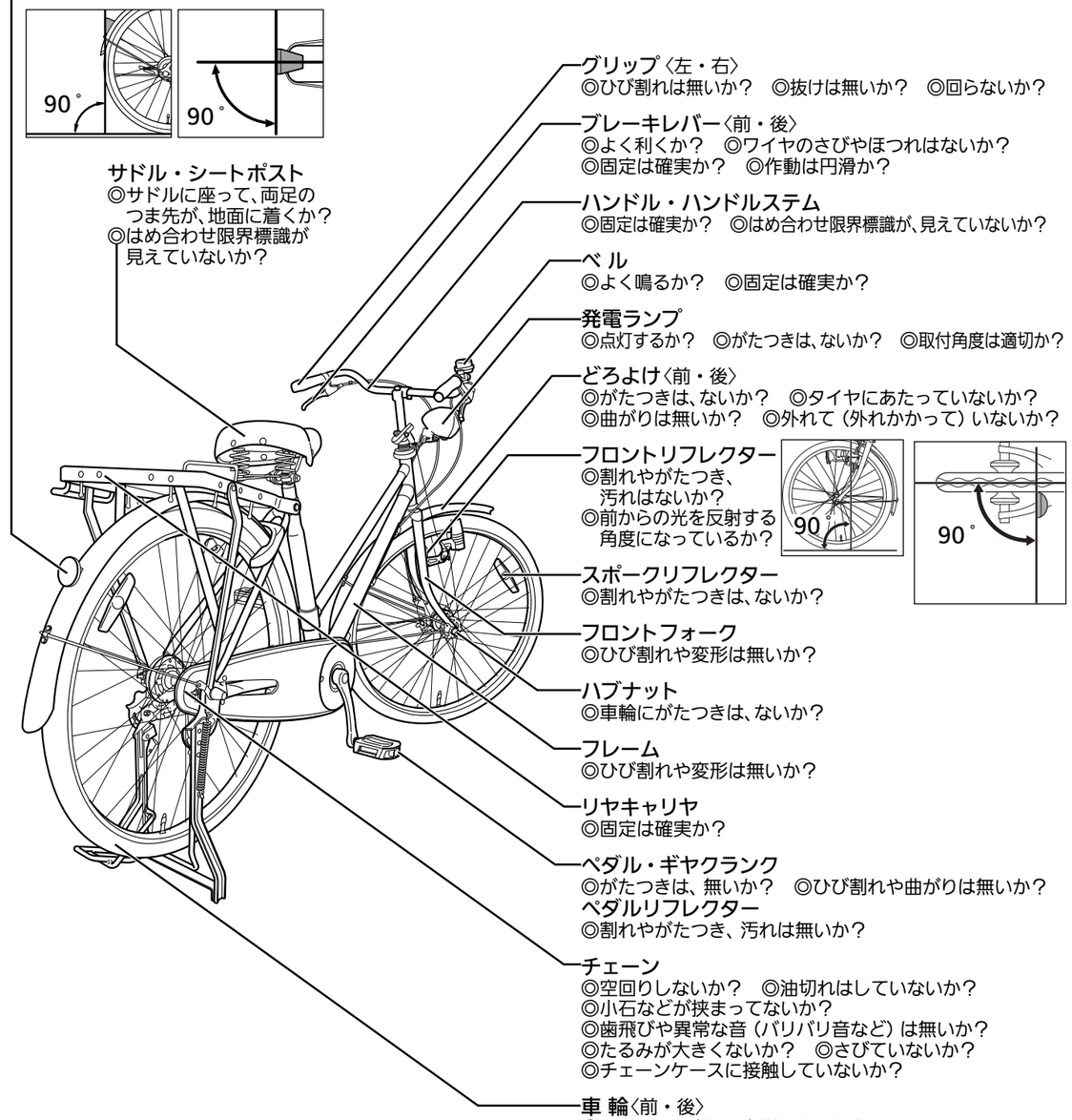
■乗るまえの点検は、必ず実施する

事故や転倒によるけがのおそれがあります。
●前後ブレーキの利き、作動の点検をしてください。
●ハンドル・ハンドルステムが、確実に固定されているか点検してください。
●前後車輪が、確実に固定されているか点検してください。
●前後タイヤの空気圧が適正か点検してください。
●ワイヤ類(ブレーキ) がたるんだりさびたりしていないか確認してください。

■点検で変形や曲がり、ひび割れなどの異常があったときは乗らない

禁止
事故や転倒によるけがのおそれがあります。
●異常があったときは販売店にご相談ください。

■自転車部品の点検（電源を切った状態で行ってください）



わからないときは、販売店にご相談ください。

■ブレーキの調整(販売店に依頼してください)

⚠ 警告

■ブレーキレバーの遊びが大きいままや、小さいままで走行しない

禁止

ブレーキが利かなくなったり、利き過ぎたりすることがあり、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

●ブレーキが利かないときやブレーキレバーの遊びが不適切なときは、すぐに販売店で点検を受けてください。

■ロックナットは確実に締め付ける

ブレーキの調整が狂い転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

■ローラーブレーキグリスの補給には、必ずローラーブレーキ専用グリスを使用する

制動力が低下し、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

●補給する目安は 1 回約 5 g です。販売店でローラーブレーキ専用グリス(当社品番 : NBP002) を補給してください。

■音鳴りがしたり、ブレーキの利きが強すぎる場合は使用しない

禁止

転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

●すぐに販売店で点検を受けてください。

⚠ 注意

■走行直後は、ブレーキ部に手を触れない

接触禁止

ブレーキ部が高温になり、やけどの原因になります。

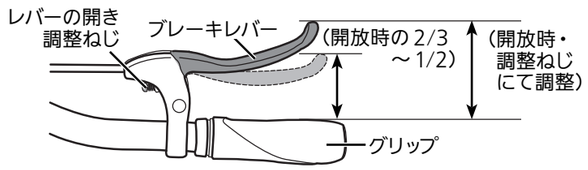
お知らせ

●平成 25 年 12 月 1 日より、制動装置(ブレーキ) に不備のある自転車と認められる自転車が運転されているときは警察官が停止させ検査ができるようになりました。停止や検査を拒んだり、運転継続禁止命令に従わなかった場合は罰金が科せられる場合があります。

※下記はブレーキの調整ねじを使用した応急的な調整方法です。販売店でブレーキワイヤを張り直すなど、点検・再調整を行ってください。

●ブレーキレバーとグリップの間隔

ブレーキレバーとグリップの間隔は、開放時の 2/3 ～ 1/2 の位置で、ブレーキが利きだすように、調整する。

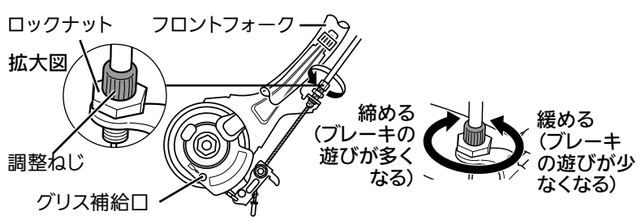


お願い

●上記の調整範囲は目安です。調整後は必ずブレーキテストをしてください。

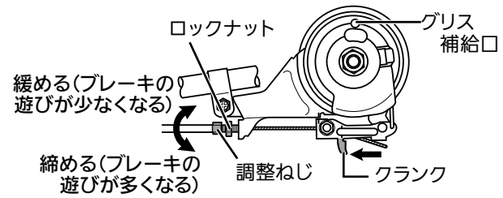
●前ブレーキ(ローラーブレーキ)

①ロックナットをゆるめる。
②クランクを押しながら、調整ねじを回す。
③ブレーキの利きを確認する。
④調整ねじがゆるまないよう、ロックナットを十分に締め付ける。
締付トルク : 1 N･m～2 N･m
{10 kgf･cm～20 kgf･cm}



●後ブレーキ(ローラーブレーキ)

①ロックナットをゆるめる。
②クランクを押しながら、調整ねじを回す。
③ブレーキの利きを確認する。
④調整ねじがゆるまないよう、ロックナットを適正締付トルクで締め付ける。
締付トルク : 1 N･m～2 N･m {10 kgf･cm～20 kgf･cm}



お願い

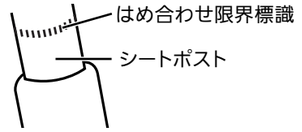
●確実な制動力を得るために、通常 1 ～ 2 年に 1 回程度は販売店でローラーブレーキ専用グリスを補給してください。
●ブレーキ調整が不適切な場合、ブレーキが利き過ぎたり、逆に利かないことがあります。また、使用によるなじみや摩耗で、ブレーキの利き具合が変わります。ブレーキが利きにくい場合は、販売店で点検を受けてください。

■サドルの調整

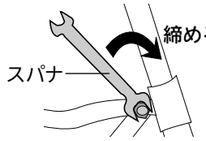
⚠ 警告

■はめ合わせ限界標識が見えるまで上げない

禁止



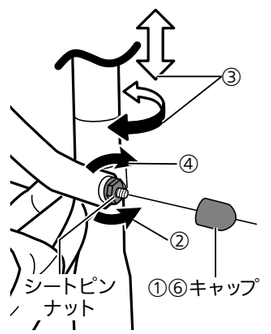
■調整後はもとどおり確実に締めつける



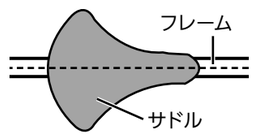
シートポストが折れたり、固定が不安定になり、転倒によるけがのおそれがあります。

●高さと向きの調整

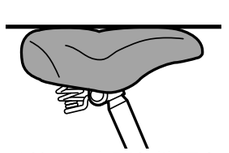
①キャップをはずす。
②シートピンナットをゆるめる。
③サドルの高さ、向きを調整する。
④シートピンナットを締める。
締付トルク
(18 ～21) N･m
{(180 ～210)kgf･cm}
⑤がたつきやずれがないことを確認する。
⑥キャップをつける。



●サドルの正しい方向と角度



フレームと平行に合わせる。



サドルの上面と地面を平行にする。

お願い

●角度の調整は販売店にご相談ください。

お願い

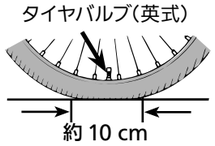
●さび付きを防止するために、シートポスト(立パイプに挿入されている部分) に、薄くグリスを塗ってください。

乗るまえの点検と調整(3)

■空気圧の調整(前後のタイヤ)

●適正な空気圧

自転車に乗った状態で接地部の長さが、約 10 cm 程度が、適正です。
圧力計のついたポンプでは、空気圧の測定が可能です。
300 kPa ～ 450 kPa{3.0 kgf/cm^2 ～ 4.5 kgf/cm^2} が適正です。



お知らせ

●長期間使用しない場合は、空気圧は自然に減ります。
●タイヤバルブの型式は、英式です。

お願い

●上記の空気圧は体重65 kg 程度の方が乗車された場合の適正な空気圧です。荷物を積むときや体重の重い方は、通常より高い空気圧 400 kPa ～ 450 kPa{4.0 kgf/cm^2 ～ 4.5 kgf/cm^2} にて使用してください。

●空気の入れかた

自転車用のポンプを使って空気を入れます。

■タイヤについて

お願い

●走行前にタイヤに異物が刺さっていないか点検してください。パンクやタイヤ・リムを損傷させる原因になります。
●タイヤの空気圧は 300kPa{3.0 kgf/cm^2} 未満では使用しないでください。タイヤのひび割れ、偏摩耗やパンクの原因になります。
●ストーブなどの熱源の近くに置かないでください。
●ガソリン・有機溶剤・油類が付着したときは、すぐふき取ってください。

⚠ 警告

■パンクしたまま走行しない

禁止

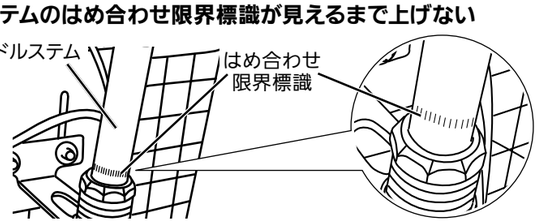
ハンドルが取られ、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

■ハンドルの高さ調整(販売店に依頼してください)

⚠ 警告

■ハンドルステムのはめ合わせ限界標識が見えるまで上げない

禁止



ハンドルステムが折れて転倒し、けがのおそれがあります。

■ハンドルステムを一番下まで下げない

禁止

固定が不完全になる場合があり、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

正しい取扱い方法(1)

■ 錠について(後輪サークル錠)

⚠ 警告

■長いキーホルダーを付けない

禁止

車輪などに巻き込んで転倒によるけがのおそれがあります。

■後輪サークル錠は走行中に作動させない

禁止

車輪がロックされ転倒によるけがのおそれがあります。

⚠ 注意

■開錠時、ツマミに指を近づけない

禁止

衝撃でけがをするおそれがあります。

■必ずスタンドをはね上げ車輪を動かすまえに、後輪サークル錠を開錠する

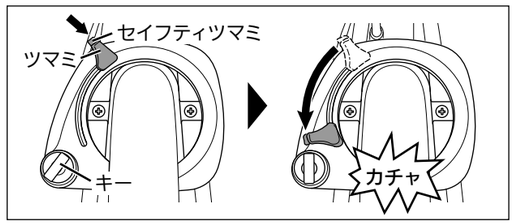
後輪が動いたときにスポークと後輪サークル錠が接触すると、変形、破損する場合があります。

お願い

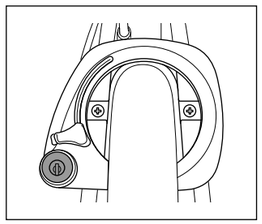
● キーは、紛失しないよう大切に保管し、キー番号は控えておいてください。(保証書にキー番号が記載されていますが、本取扱説明書の 31 ページのキー番号欄に記入しておかれることをお勧めします。)
●キーを紛失された場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。その際には、保証書とキー番号が必要ですので、必ずご持参願います。(保証書にキー番号が記載されています。)
●キーをさした状態で上下に強く押さないでください。(キーが曲がり、操作できなくなります。)

●施錠方法

①セイフティツマミを押しながら「カチャ」と音がするまで下に押す。

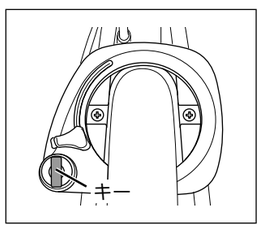


②キーを抜く。

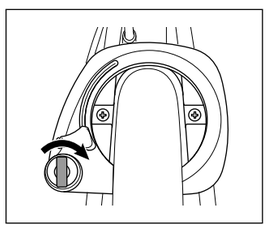


●開錠方法

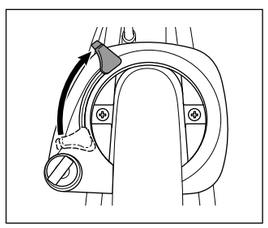
①キーを差す。



②キーを時計方向に回す。



③ツマミは自動的に上へ戻り、キーはキー穴から抜けなくなる。



お知らせ

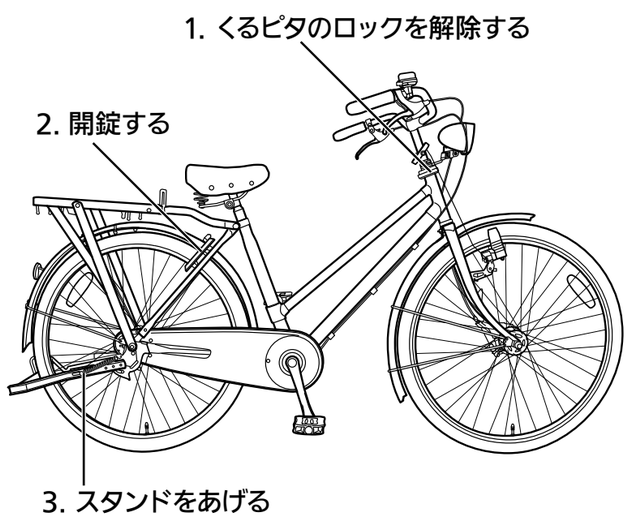
●冬期にサークル錠シリンダー内に入った水分が凍結し、一時的に開錠できなくなることがありますが、水分がとけると開錠できます。

正しい取扱い方法(2)

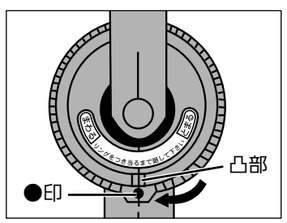
わからないときは、販売店にご相談ください。

■前車輪旋回抑制機構（くるピタ）について

●乗車時



1



くるピタの、リングの赤い●印を時計方向（まわる側）に回し、凸部と●印が合っていることを確認する。
（ハンドルがスムーズにまわります。）

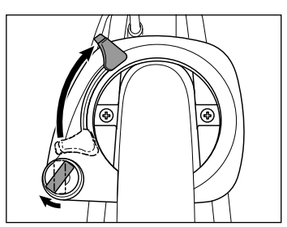
●くるピタの特長「くるピタ」は駐輪するとき（特に坂道）のハンドルのふらつきや回転を抑制します。

⚠ 警告

■くるピタをロックして乗車しない
■くるピタの位置を確認せずに乗らない

禁止 転倒によるけがのおそれがあります。

2



後輪サークル錠を、開錠する。

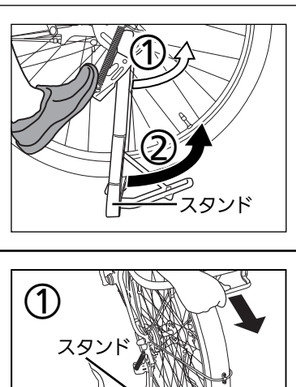
お願い

●詳しい開錠方法は、15 ページをご覧ください。

お知らせ

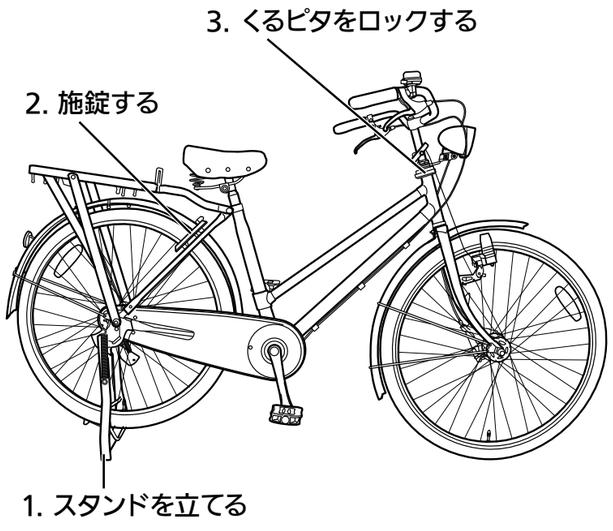
●走行時は、後輪サークル錠にキーが付いたままになります。

3

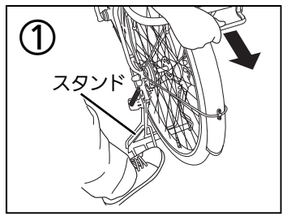


スタンドロックを解除し、スタンドを後方へ完全にはね上げる。

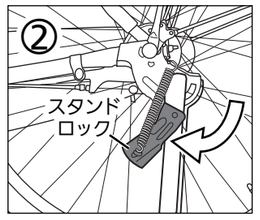
●駐輪時



1

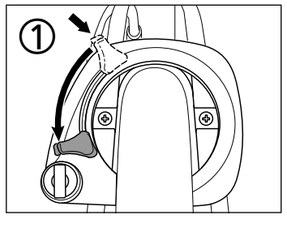


スタンドを足で踏みながら、リヤキャリヤを手でひっぱってスタンドを立て、ロックする。



スタンドロックをかける。

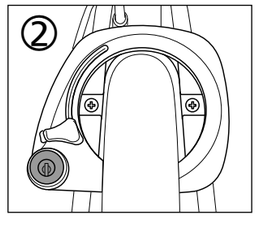
2



後輪サークル錠を、施錠する。

お願い

●詳しい施錠方法は、15 ページをご覧ください。

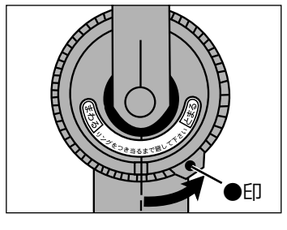


キーを抜く。

お知らせ

●駐輪時は、後輪サークル錠からキーを抜き取り、携帯します。

3



くるピタの、リングの赤い●印を反時計方向（とまる側）に回らなくなるまで回し、ロックする。（ハンドルの回転が抑制されます。）

お知らせ

●リングを反時計方向（とまる側）に回してもとまらない場合は、ハンドルを少し動かしながらリングを回し、とめてください。
●回転方向に強い力を加えると、『カチッカチッ』と音がしてハンドルは回転します。

⚠ 警告

■くるピタをロックした状態で、無理なハンドル操作を行わない

禁止 くるピタが壊れて、ハンドルが固定され転倒によるけがのおそれがあります。

■発電ランプの取扱い

⚠ 警告

■発電ランプの取り付けが緩んだまま、走行しない

禁止 前方を照らす角度が狂い、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。
●乗るまえに点検してください。

■夜間や視界の悪いときは点滅状態や無灯火で乗らない

禁止 衝突や転倒によるけがのおそれがあります。
●ランプがつかないときや点滅状態のときは、押して歩いてください。無灯火や点滅状態での夜間乗車は法令違反になります。

■目に光を当て続けない

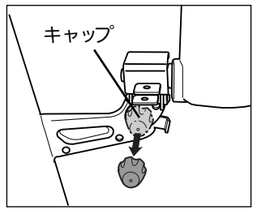
禁止 目を痛める原因となります。

■走りながら、発電ランプの操作を足でしない

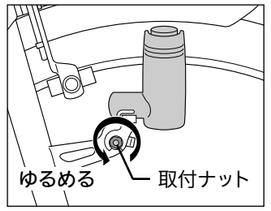
禁止 足が車輪に巻き込まれ、転倒によるけがのおそれがあります。
●停止して、ランプリモコンレバーを操作してください。

●ダイナモの向きの調整(販売店に依頼されることをお勧めします。)

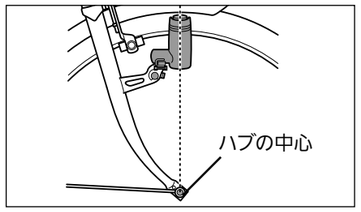
①キャップを外す。



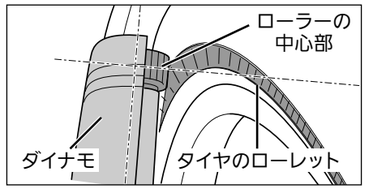
②取付ナットをゆるめる。



③ダイナモを、ハブの中心に向ける。



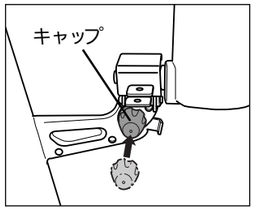
④ダイナモのローラーの中心部をタイヤのローレットに接触させる。



⑤取付ナットを締める。

締付トルク :(6.5 ～9.5) N･m {(65 ～95)kgf･cm}

⑥キャップをつける。



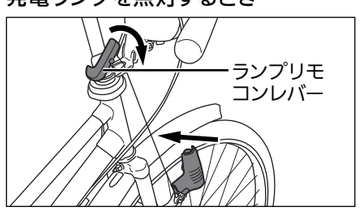
●照らす位置

お願い

●角度の調整は販売店にご相談ください。
●対向者にまぶしくならない角度に調整してください。

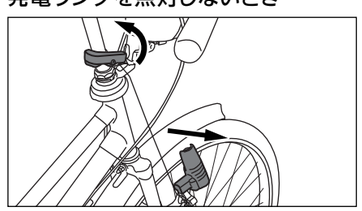
●点灯のしかた

発電ランプを点灯するとき



ランプリモコンレバーを下げるとダイナモのローラーがタイヤに接触します。

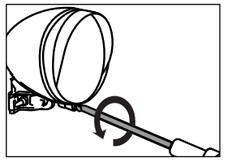
発電ランプを点灯しないとき



ランプリモコンレバーを上げるとダイナモのローラーがタイヤから離れます。

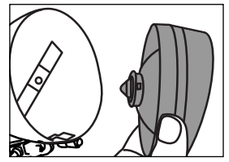
●電球の交換方法(電球の交換は販売店にご相談ください。)

①ネジをゆるめる

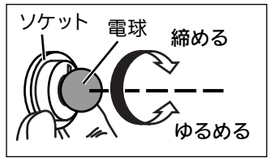


※⊕ドライバーを使用

②カバーとレンズを外す

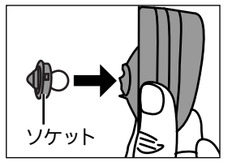


③ソケットを外し電球を交換する

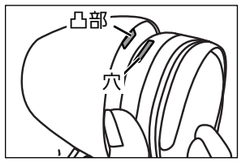


※電球仕様 : 6 V ー 2.4 W 真空球

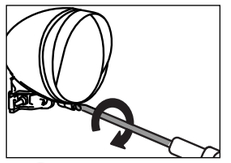
④カバーとレンズにソケットを取付ける



⑤レンズの穴に本体上部の凸部をはめ込みながら取付ける



⑥ネジを締める



※⊕ドライバーを使用

お知らせ

●予備電球は付属していません。

■ブレーキのかけかた

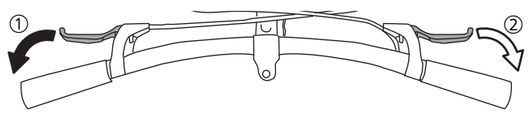
⚠ 警告

■雨天時や下り坂ではスピードを出さない

禁止 制動距離が長くなったり、スリップしやすくなったりするため、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

■前ブレーキだけを強くかけない

禁止 車輪がロックし、自転車が前方に転倒することによりけがのおそれがあります。



①後ブレーキを先にかけてから
②前ブレーキをかける。

お願い

●急な坂道のときは、降りて押してください。
●下り坂のときは、適時ブレーキをかけながら速度がですぎないように走行してください。
●下り坂の手前では、ブレーキテストを行ってください。
●急ブレーキをかけなくてもよいように、いつも前方に注意してください。

■積載条件について

⚠ 警告

■乗るまえにリヤキャリヤ締め付け部の固定を確認する

荷物やチャイルドシートなどが落下し、けがをするおそれがあります。

●リヤキャリヤに緩み・ガタなどの異常が確認されたときは、ご販売店にご相談ください。

■荷物を積むときは、リヤリフレクターが隠れないように積載する

事故によるけがのおそれがあります。

■積載条件を超えない荷物でも、通常より重い荷物を積載するときは、安全の確保できる場所で、十分練習してから乗車する

バランスを崩し、ブレーキの利きが悪くなり、転倒によるけがのおそれがあります。

■荷物が確実に固定されていることを確認する

ひもやベルトが後車輪に巻き込んで、転倒によるけがのおそれがあります。

■積載条件から外れる荷物を積まない

禁止

リヤキャリヤやフレームが破損し、転倒によるけがのおそれがあります。

■リヤキャリヤを変造および改造はしない

禁止

部品が破損し、外れて転倒によるけがのおそれがあります。

〈積載条件〉

リヤキャリヤ	
最大積載質量	積載物の大きさ限度
30 kg まで(クラス表示 S)	幅　：リヤキャリヤの幅プラス 10cm まで 長さ：リヤキャリヤの長さプラス 10cm まで 高さ：リヤキャリヤから 30cm まで

お願い

●荷物の運搬には、リヤキャリヤ以外は使用しないでください。

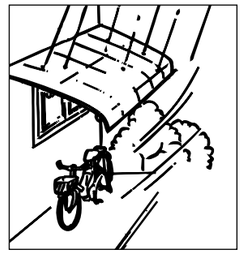
●最大積載質量以上の荷物を積まないでください。劣化度合が大きくなったり、場合によってはリヤキャリヤ、フレームなどが破損するおそれがあります。

●リヤキャリヤを交換される場合は、当社純正品 NCR1368 をご使用ください。当社の純正部品以外をご使用になり、不具合が生じた場合は、保証の対象外になります。(純正以外の部品を取り付けられた場合、強度の不足や、シートピンのねじ長さ不足によるシートピンの破損、操縦性の低下による転倒のおそれがあります)

お知らせ

●この自転車は、チャイルドシートを取付けることはできません。

保 管 ／ 廃 棄



■保管場所は、

●安定のよいところ、直射日光が当りにくいところ、雨がかかりにくい場所に保管してください。

●雨がかかるところでは、市販の「サイクルカバー」のご使用をおすすめします。
※長期保管後、再使用される場合は、販売店で点検・調整のうえ、ご使用ください。

■廃棄するときは、

●自転車を廃棄するときは、お住まいの地域のルールに従ってください。

■タイヤの管理

●空気を適正空気圧まで入れてください。(☞ 14 ページ)

運 搬

⚠ 注意

■サドルを持ち上げて移動させない

禁止

サドルバネやベースが破損し、けがをするおそれがあります。

お手入れ／注油について

お 手 入 れ

■日常のお手入れは、

●乾いた布やブラシで、泥や土、ほこりを落としてください。
●がんこな汚れには、台所用洗剤(中性) を薄めてご使用ください。

■汚れがひどいとき

●水洗いし乾燥させたあと、各部に注油してください。
●注油禁止場所には注油しないでください。(☞ 23 ページ)

■塗装部(フレーム体など)

●乾いた布でよく磨き、自動車用のワックスをかけ、乾いた布でふき取ってください。

■めっき部(ハブなど)

●乾いた布でよくふいたあと、「さび止め油」か「ミシン油」でふき、余分な油をふき取ってください。

■次のような場所では、

〈湿気の多い場所・海岸沿い・工場地域・エアコンの室外機のそば・自動車の排気ガスのかかる所・鉄道の線路際など〉
●さびやすいので、お手入れの回数を、多くしてください。

■ステンレス部品

●ステンレスはさびにくい金属ですが、使用条件や環境によってさびることがあります。下記の点にご注意の上ご使用ください。
○ステンレスに付着した鉄粉などが、さびることによって「もらいさび」が発生しますので、お手入れを頻繁に行ってください。(例 : 鉄道や鉄工所の近辺での保管車、後車輪周りのステンレス部品など)
○ステンレスは塩素にも弱く、さびることがあります。塩分や塩素系の洗浄剤が付着したときは、乾いたあとでもさびが発生しますので、水を含ませた布などでしっかりふき取ってください。

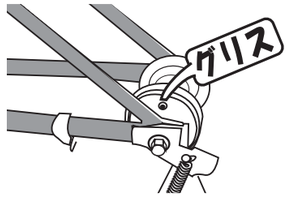
お願い

●シンナーなどの有機溶剤は、使用しないでください。(塗装がはげたり、樹脂製部品が浸食されます。)
●サドルには、ワックスをかけないでください。(座ったとき衣服が汚れたり、すべります。)

注 油 に つ い て

⚠ 警告

■ブレーキグリスの補給には、ローラーブレーキ専用グリスを使用する



ブレーキが利かなくなり、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

注油場所と注油禁止場所

このマークは、注油場所を示します。

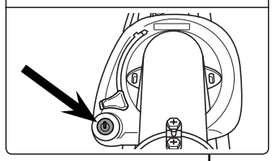
このマークは、注油禁止場所を示します。

お願い

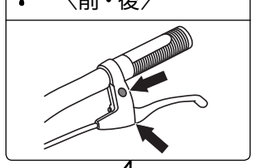
●油の種類は、必ず、自転車用油を使用してください。(食用油などは、硬化するおそれがあります。)
●余分な油は、乾いた布でふき取ってください。
●オプション部品についても、同様のメンテナンスをお願いします。

キー穴に注油。
(さびによる動作不具合を防ぎます。)

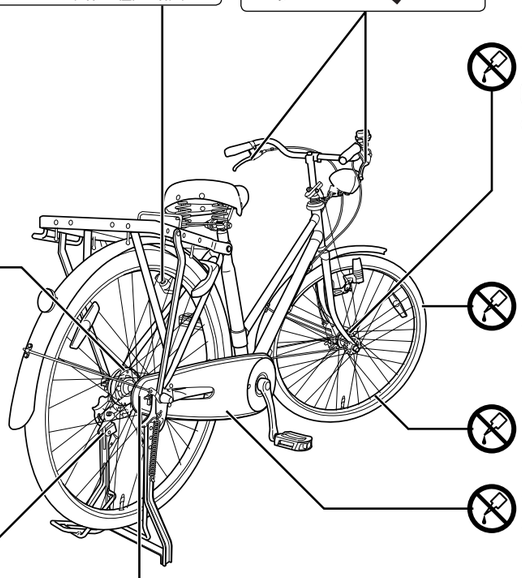
後輪サークル錠



ブレーキレバー〈前・後〉



レバーの可動部とワイヤの固定部に注油。
(ワイヤがさびて、切れやすくなるのを防ぎます。)



前ブレーキ

お願い

●メンテナンスをする場合は専用グリスを使用してください。(☞ 12 ～ 13 ページ)

後ブレーキ

お願い

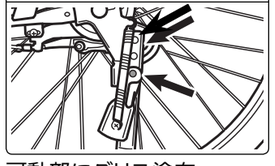
●メンテナンスをする場合は専用グリスを使用してください。(☞ 12 ～ 13 ページ)

タイヤ〈前・後〉
ついた油は、すぐふき取る。
(ひび割れなど老化を防ぎます。)

リム〈前・後〉

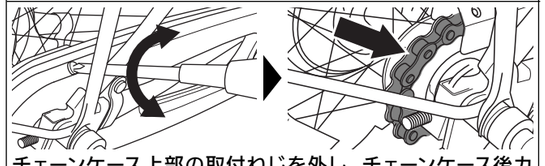
チェーンケース
ついた油は、すぐふき取る。
(変色や塗装がはげるのを防ぎます。)

両立スタンド



可動部にグリス塗布。
スタンドロックの裏側の2本のカシメ部分。
バネ引っ掛け部の上端。

チェーン(内側)



チェーンケース上部の取付ねじを外し、チェーンケース後カバーを外してください。
クランクを回しながら注油。(チェーン・ギヤのさびつき、摩耗を防ぎます。)
余分な油はふき取る。(油汚れやほこりの付着を防ぎます。)

定 期 点 検／アフターサービス

定 期 点 検

⚠ 警告

■定期点検は、必ず実施する

異常や故障の発見がおくれ事故発生によるけがのおそれがあります。

■部品の交換は、次の基準で実施する

●ブレーキワイヤは、異常が無くても 2 年に 1 回は、交換する。
●タイヤは、接地面（トレッド）の溝がなくなるまえに交換する。

ブレーキが利かなくなり、スリップのため転倒によるけがのおそれがあります。

点検と整備は、自転車の大切な健康診断です。
いつまでも安全にお乗りいただくために、ご使用後初めての初回（2 か月以内）点検と、6 か月ごとの定期点検の実施をお願いします。（裏表紙の点検・整備チェックリストにて実施をお願いします。）

●初回（2 か月以内）の点検と整備

お買い上げ 2 か月ぐらいのご使用で、各部にねじの緩みが出ることがあります。
必ず、お買い求めの販売店または修理代行店で、自転車安全整備士、自転車技士（自転車組立整備士）、もしくは同等の技術を有する者により点検・整備をお受けください。

● 2 回目以降（6 か月ごと）の点検と整備

安全にご愛用いただくため、必ず継続してお受けください。

アフターサービス（修理を依頼されるとき）

●保証期間中は、 ▶

- ●保証対象かどうか（無償修理か有償修理か）は、お買い上げの販売店で自転車と品質保証書の内容を確認した上で、判断させていただきます。
- ●インターネットなど通信販売でお買い上げの場合も、まず販売店にご相談ください。出張修理や補修部品の直接販売は弊社では行なっていません。

●保証期間が過ぎたあとは、 ▶

お買い上げの販売店にご相談ください。

※補修用性能部品の保有期間 **6 年**

当社は、この自転車の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後、6 年保有しています。

盗難補償

盗 難 補 償

盗難補償制度とは、自転車をお買い上げいただいたお客様を対象に、ご購入日より 1 年以内に盗難にあわれた場合、本体希望小売価格（税抜）の 60 パーセントの負担で同一車種または同等の車種をお買い求めいただくことができる制度です。制度の詳細は下記のとおりです。※本体希望小売価格には消費税は含まれておりません。

ご購入時、CLUB Panasonic にてご愛用者登録をいただくか、ご愛用者登録はがきに必要事項をご記入の上、パナソニック サイクルテック愛用者登録係にご返送いただいたお客様に限り、次の内容により盗難補償が受けられます。

（1）盗難補償の期間と範囲

お買い上げの日から 1 年間以内の自転車（別売部品などを含む装着部品の盗難は除く）かつ、盗難日より 90 日以内に申し込みいただいた場合に限ります。

（2）盗難補償の申し込み要領

万一、盗難にあわれたときは、自転車保証書と盗難にあった地区の警察署から交付を受けた証明になるもの（警察受理ナンバーまたは盗難届出証明書など）に、盗難車の希望小売価格（税抜）の 60 パーセントの現金を添えて、お買い上げの販売店へお申し込みください。追って、販売店から新車をお渡しします。
※本体希望小売価格には消費税は含まれておりません

（3）盗難補償できない場合

①施錠せず盗難にあった場合
② （2）の書類がそろわない場合
③補償期間が過ぎている場合
④盗難補償車が、再度、盗難にあった場合
⑤防犯登録がされてない場合
⑥盗難車が見つかり、返ってきた場合
⑦景品などの贈呈品の場合
⑧愛用者登録をされていない場合

ご注意

●生産などの都合で、同タイプの自転車をお届けできない場合がありますことをご了承願います。
●新車をお渡しした時点より、盗難車の所有権は弊社に帰属します。

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください
お宅の家電情報をまとめて登録管理！ エンジョイポイントをためてプレゼントに応募！

PC http://club.panasonic.jp/
携帯 http://mobile.club.panasonic.jp/

※ご愛用者登録には、CLUB Panasonic 会員への登録が必要です。
※登録時は、商品の品番を事前にご確認ください。
※このサービスは WEB 限定のサービスです。

自転車安全基準／BAAマーク

この自転車は(一社) 自転車協会が定めた自転車安全基準に基づく型式検査に合格した適合車です。

自転車安全基準

「自転車安全基準」は、(一社) 自転車協会が JIS(日本工業規格) をベースに、EN(ヨーロッパ規格) など海外の規格やヨーロッパの環境負荷物質に関する規制(RoHS 指令) を踏まえて、消費者の安全第一と環境負荷の低減を目的として定めた基準です。

BAAマーク

「BAAマーク」は、自転車安全基準に基づく型式検査に合格した適合車に、貼ることができるマークです。
「BAAマーク」は、自転車の立パイプに貼付されています。
※ BAA= 自転車協会認証 -BICYCLE ASSOCIATION (JAPAN) APPROVED

オプション 別売部品

取付けのポイント

●安全にご乗車いただくため、必ず当社の純正部品をご使用ください。
(当社の純正部品以外をご使用になり、不具合が生じた場合は、保証の対象外になります。)
●オプション部品の品番は都合により変更することがありますので、取付けの際に、販売店にご確認ください。
(掲載している品番は 2014 年 4 月 現在のものです。)
●価格等詳細については、販売店にご相談ください。

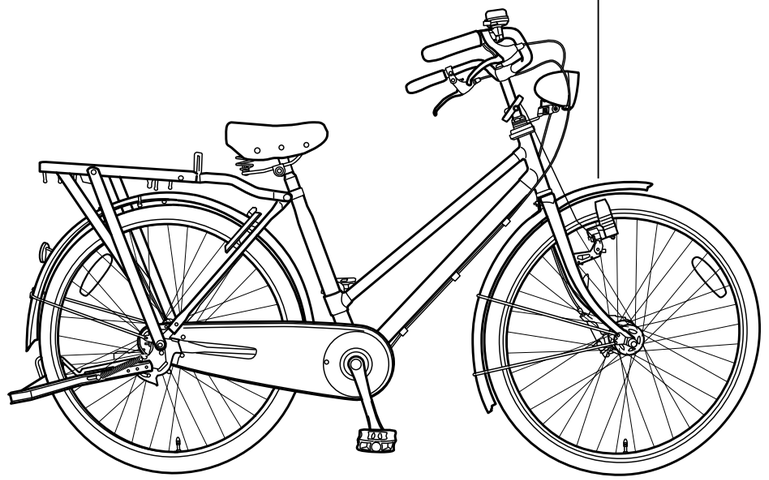
バスケット
NCB1792…本　　体
NKT039　…ランプ取付金具
NCC414　…バスケット脚
※オプションのフロントバスケットを装着した場合、リヤキャリヤの積載質量は 20 kg までになります。

⚠ 警告

■積載条件から外れる荷物を積まない

禁止

〈バスケット積載条件〉
●大 き さ : バスケットにおさまる大きさ
●重　さ　: 10 kg まで
〈リヤキャリヤ積載条件〉
●高　さ　: 30 cm まで
●幅・長さ : キャリヤの幅・長さプラス 10 cm まで
●重　さ　: 20 kg まで
バランスを崩して、転倒によるけがのおそれがあります。



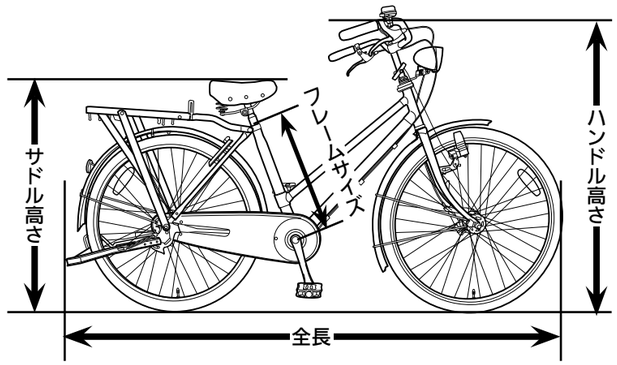
仕　様

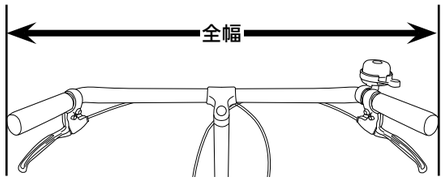
品　番		B-RG61A
寸法	フレームサイズ	430 mm
	全　長	1,830 mm
	全　幅	580 mm
	ハンドル高さ	1,000 mm ～ 1,090 mm
	サドル高さ	810 mm ～　950 mm
フレーム		スタッガード型
ハンドルバー		中上り
発電ランプ		ダイナモ式ランプ
錠		後輪サークル錠
チェーンケース		全ケース
前後ブレーキ		ローラーブレーキ
スタンド		両立スタンド
リフレクター		フロントフォーク・後どろよけ・前後車輪に取付
リム		26 × 1 3/8 WO 36H
タイヤ（前後）		26 × 1 1/2 WO
オプション		バスケット
乗車適応身長		140 cm 以上
質　量		24.6 kg

●乗車適応身長は片足がペダルに乗っているとき、もう片方のつま先が地面に着地できる身長を指します。
（☞4 ページ　■乗るまえに）

●乗車適応身長は、個人差がありますので、目安としてください。
●寸法や質量は、部品のばらつきや仕様変更などにより、誤差が生じる場合があります。
●この車種は、乗員体重を 65 kg で基本設計しています。
従って、著しくオーバーした体重の方が常用された場合は、消耗度合、劣化度合が大きくなります。

■寸法について





必要なとき

～メモ～

使いかた・お手入れ・修理などは **まず、お買い上げの販売店へ** ご相談ください。

パナソニック 総合お客様サポートサイト	商品に関する、**お客様ご相談窓口** 365日 受付9時～20時
http://www.panasonic.com/jp/support/	電話 フリーダイヤル **0120-781-603** ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
	■上記番号がご利用いただけない場合 **(072) 977-1603**（有料ダイヤル）

※ご使用の回線（ひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

■取扱店や展示店のご紹介など、販売店に関するご相談は、お住まい近くの支店相談窓口が承ります。下記地域外のお客様は、フリーダイヤルへおかけください。

●各地域の支店相談窓口（営業時間／ 9:00 ～ 17:00）土・日・祝日・弊社指定の休日を除く

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。
※所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

東北地区（青森・岩手・福島・宮城）
東日本支店 (022) 382-7791

埼玉・群馬・栃木・茨城・新潟地区
東日本支店 (048) 723-5131

東京・千葉・神奈川・山梨地区
首都圏支店 (042) 490-5545

中部・東海地区（愛知・静岡・岐阜）
中部支店 (0587) 54-4111

近畿地区（大阪・兵庫・奈良）
近畿支店 (072) 975-4100

中国地区（広島・岡山・山口）
中国支店 (082) 870-7776

九州地区
九州支店 (092) 671-8648

愛情点検　定期点検をし、安全走行をしましょう！

こんな症状はありませんか	●異常な音がする ●がたつきや緩み ●車輪の振れ ●ブレーキの利きが悪い	▶	ご使用中止	事故防止のため、必ず販売店に点検、整備を依頼してください。

便利メモ（覚えのため、記入されると便利です。）

販売店名	
お買い上げ日	年　月　日
電話	(　　)　－
品番	
車体番号	
キー番号	
防犯登録番号	

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック サイクルテック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。